

岩沼市議会が行った先進議会調査・岩沼市が受けた行政視察

議会運営委員会

千葉県柏市（1月26日）

オンラインによる委員会の開催

柏市議会では、総務省の通知を受け、新型コロナウイルスの感染拡大を機に感染症のまん延防止や大規模な災害発生時など、参集が困難な場合でも会議が開催できるように、会議規則・委員会条例を改正し、オンライン会議システムによるオンライン委員会を開催している。

オンライン会議においては、円滑な会議運営のため、会議開催前にオンライン出席者の接続確認等を行っているが、実際の運用面では、回線トラブルなどの課題が生じている。なお、採決については、簡易採決または挙手による採決を基本とし、付託議案や請願等の採決を行うときは挙手により行っており、態度に疑義がある場合は、委員長は口頭で該当委員に賛否を確認することとしている。

岩沼市議会の本会議においても、タブレット端末による新たな議会運用を始めており、言論の府としての議会活動を広く行うためにも、オンライン会議による委員会を検討し、積極的に活用していくべきと考える。

千葉県白井市（1月27日）

運営

白井市議会では、従来の予算決算審査において、常任委員会の所管ごとに分科会を設け、審査を行っており、常任委員会に所属していない議員は関連議案の質疑が行えなかったことから、現在は3常任委員会から各3人と議長又は副議長を含めて選出し、議員任期

の前期2年と後期2年に分けて一括審査ができる方法を試験的に実施している。また、資料の確認及び慎重審査のため、休会日を設けている。

白井市議会の現行の運営体制は、特別委員会への付託により、分割付託による「議案一体の原則」への抵触が解消されたものの、半数の議員が審査できないこと、選出委員に会派構成による偏りが出てしまったことなどの課題も生じている。

岩沼市議会においても、慎重審査や意見の取りまとめという観点では、連日の審査としない会期の取組を試みてもよいのではないかと感じるが、全体的なメリット・デメリットを考えたうえで、良い方法を検討していく必要があると考える。



議会ICT化推進特別委員会

栃木県宇都宮市（1月16日）

宇都宮市議会においては、ペーパーレス会議の試行により課題を抽出し、改善しながら前進している。また、議会全体でラインワークスを使い、業務の効率化や情報発信・情報共有に有効活用している。

岩沼市議会でも身近なアプリのダウンロードのルールづくりなどを行い、タブレット端末の有効活用を図るべきである。

茨城県取手市（1月17日）

取手市議会は議会改革やデジタル化の分野で全国市議会のトップランナーとして、ペーパーレス会議の実施、オンラインを活用した地元中学校とのコラボ行事、複数の端末機を持ち込みなど、先進的な取組を進めている。

岩沼市議会もタブレット端末を導入した時点では、「1年後を目途にペーパーレス会議を実施しよう」を目標にしてきたが、道半ばの現状にある。最先端を進む取手市議会の「やってみよう」という姿勢を大いに学び、次のステップに歩み出す時期を迎えているという認識を私たち一人ひとりの議員が強く持たなければならぬと考える。

神奈川県藤沢市（1月18日）

藤沢市議会では、映像による説明によりオンライン会議に対する理解を深めることができた。また、要綱や留意事項を定め、オンライン会議を円滑に行うためのルールづくりが完成している。また、ICT化推進は市民の利益に資する取組であり、有事への備えとも認識されている。

岩沼市議会も藤沢市議会を参考とした制度設計を進めるとともに、議員同士のフォローアップ研修を重ねながら、完全ペーパーレスに備えなければならぬ。そして、紙資料を無くすときは一気に無くすという思い切ったスタンスも必要だと考える。



注目されている岩沼市

多くの自治体議会が岩沼市を視察先を選んでいきます。

令和4年10月26日
宮城県柴田町議会
調査項目：岩沼A1バス（実証運行）の内容等



令和4年10月26日
高知県室戸市議会
調査項目：東日本大震災の復興への取組等

令和4年10月31日
兵庫県議会
調査項目：認知症高齢者等見守りネットワーク事業等



令和5年1月20日
岩手県久慈市議会
調査項目：議会運営について ～対面型・一問一答方式等